

高円宮杯 JFAU-18 サッカーリーグ2021 福岡

感染防止対策マニュアル

1 感染防止対策について

(1) 移動に関して

- ア 試合会場への来場は、試合開始100分前を目安とする。また、終了後はすみやかに退出すること。
- イ バス等を利用する場合は、事前に車内消毒を行い、運転手の体調管理にも気を配ること。またバス内ではマスクを着用し、窓を開け換気をする。
- ウ 公共の交通機関を利用する場合は、マスクを着用し、できる限り混雑する時間帯を避けること。
- エ 試合会場への入場は、基本、当日出場する選手25名、及びマネージャー・スタッフ（少人数で）のみとする。
- オ 各会場の注意事項を事前に確認する。

(2) 会場運営に関して

- ア 本部、更衣場所、ベンチなど、人が集まる場所では2m程度の間隔をあけること。また一度に使用する人数を制限し、ミーティングも短時間で行うようにする。
- イ 会場補助員（本部・タンカー・ボールパーソン）はできるだけ少なくする。
- ウ 本部役員、会場補助員は皆、マスクを着用する。
- エ 試合前と終了後に、競技用具や備品などの消毒を行う。（ボール・コーナーフラッグ、ゴールポストなど）
- オ 各会場で、立入禁止区域を設定するなど、会場使用規定を作成し来場者へ注意喚起を行う。
- カ ゴミ箱は設置しない。ゴミは各自持って帰るよう指示する。
- キ 当日の日程が終了後、特にトイレ・洗面所・控室等の清掃と消毒を行う。

(3) 会場利用と試合中に関して

- ア 選手に関して、ウォーミングアップ・試合中は、マスクはしなくてよい。
- イ シェークハンドセレモニー、ハイタッチ、肩を組むなど、不必要な身体接触は避ける。
- ウ 控え選手はマスクを着用し、大きな声での会話や応援等は自粛する。
- エ 飲水ボトルの共用は避け、水、氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。
- オ うがいした水、つばをピッチ内に吐かない。また、咳エチケットも守る。
- カ 選手交代（IN・OUTどちらの選手も）は消毒や手洗い、うがいを行う。
- キ 試合終了後、選手の消毒や手洗い、うがいを行う。
- ク ベンチを出ていく際は、椅子、テントの柱部分の消毒を行う。
- ケ 使用した控室等は、清掃と消毒を行う。
- コ 消毒液等は各自、準備する。

2 選手・スタッフの健康管理について

- ア 選手およびチームスタッフは、毎日の健康チェックを行う。(健康チェックシートを活用)
- イ 健康チェックシートはチームで保管し、保健所等より提示を求められた場合は速やかに提出すること。
- ウ 試合当日、発熱等の風邪症状がみられる選手は試合への参加は認めず、自宅休養を徹底させる。
- エ 発熱（37.5度以上）が二日以上続くなどした場合、その週の試合への参加は控える。

3 感染者もしくは濃厚接触者と特定された者が出た場合

- ア 選手・スタッフが感染した場合、感染者の参加は認めない。
- イ 選手・スタッフが感染し、チーム内の他者も濃厚接触者として特定された場合、チームとしての参加を認めない。
- ウ 学内で感染者が確認され、臨時休校の措置が取られている場合、もしくはチームとして活動を停止している場合、参加は認めない。